



ナノゾーンコート

光触媒酸化チタンコーティング

nano scale titanium oxide photocatalyst coating

酸化チタンと
光の力がつくる
ウェルネス空間。

ナノゾーンコートは、自己結合性酸化チタン分散液【ナノゾーンソリューション】を塗工する、空間ケアコーティング。酸化チタンの光触媒作用^{*1}で、菌やウィルスを大幅に低減。抗菌状態を保ちながら、花粉、VOC^{*2}などのアレルゲンや、カビ、臭いも継続的に抑制します。日本が誇る環境浄化技術「酸化チタン光触媒」を、現代の暮らしにフィットさせた、新しい空間ケアサービスです。



*1

酸化チタンの光触媒作用とは

1967年、東京大学の研究で発見。酸化チタンに光が当たると、空気中の酸素や水分に反応し、活性酸素または活性水酸基を発生。それらが接触する有機物（菌・ウィルス・VOC・臭い等）を酸化分解あるいは不活化させる作用です。

作用イメージ



光
(太陽光 室内光)



光が当たると、光触媒作用を持続

光が当たると…



活性酸素
(菌・ウィルスなど)
有機物
→
触れた有機物を分解

分解



除菌率
98%
以上



【資料】黄色ぶどう球菌の不活化試験
一般社団法人家ケンテストセンター調べ

穏やかな暮らしを、清らかな空間から。

空間ケアの新しいスタンダード。



ナノゾーンコート専用「nanozone SOLUTION (ナノゾーンソリューション)」

酸化チタン光触媒の課題を解決。これから的新基準となる、オンリーワンのプロダクト。



独自技術
自己結合性
酸化チタン

独自技術
均一で安定的な
分散液化

均一に分散した自己結合性酸化チタンが
バインダーレス (接着剤不要) で、あらゆる素材に分子間結合。
効率的に光を吸収し、光の少ない環境下でも
しっかりと触媒作用を発揮

即効性と高い持続性

従来の酸化チタン光触媒

酸化チタンがバインダーに埋もれ
充分に光触媒作用を発揮できない

バインダーの剥離により
酸化チタンが減少

従来の酸化チタン
= 粒子径 : 大きい

バインダー (接着剤)

nanozone SOLUTION

(自己結合性酸化チタン分散液)

バインダー不要で
対象物にしっかりと結合
微小な光にも反応し
効率よく光触媒作用を発揮

ナノゾーンソリューションの酸化チタン
= 粒子径 : 小さい



あらゆる場所に、安心をお届けします。

オフィスや工場をはじめ、各種商業施設、医療・交通・教育等の公共機関など採用多数。



チェコ共和国では、病院をはじめとした医療機関、空港・鉄道などの交通機関、教育機関、浄水層の中など、幅広くナノゾーンコートが導入されています。
手術室やICU(集中治療室)など、シビアな衛生管理が求められる場所にも導入され、高い評価をいただいています。



防汚効果で
美観維持と清掃コストを削減

屋外コーティング

ナノゾーンコートは、高い防汚効果も発揮。酸化チタン光触媒の「セルフクリーニング効果」で、コート面を汚れがつきにくく、落ちやすい状態にします。建物の外壁やガラスなど、屋外設備にコーティングすることで、美観を維持し、清掃の手間やコストを抑える事ができます。



新基準の酸化チタン光触媒「ナノゾーンソリューション」の実感できる効果。

ナノゾーンコートが選ばれる理由です。

